

# 平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671650		高津区役所まちづくり推進部企画課			戸田	64122

事業の概要									
<b>事業の概要</b>		(1)市民の提案を基に、市民と協働で地域の課題を解決する。 (2)市民から事業提案を募集し、その提案の中で優れたものを選定し、その事業を提案者(市民)自らが区と協働して執行する。 (3)事業選定に当たっては、高津区市民提案型協働事業審査委員会による審査を行う。 ※なお、選定された事業の概要等は個別の評価書を参照。							
<b>実施期間</b>		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		平成18年度	—						
<b>地域の課題と現状</b>		地域の課題が多様化する中で、すべての区民ニーズに行政がきめ細かくに対応することは困難な状況にある。一方で、地域においては市民による公共的な活動が行われている。市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、課題の解決やサービスを提供していく必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		1,287	236				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,287	236						

計画 (Plan)	
<b>事業の目的</b>	市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、地域課題の解決やサービス提供をしていく
<b>今年度の事業の取組内容</b>	(1)30年度実施事業を3事業実施する。中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行う。 (2)31年度事業の選定にあたっては、公開プレゼンテーションを開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が決定する。 (3)29年度に実施した事業について、外部委員による審査委員会により評価を行う。

実施結果 (Do)									
<b>上記取組内容に対する達成度</b>		<b>3</b>	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
<b>取組内容の実績等</b>		(1)30年度実施事業を3事業実施し、中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行った。 (2)31年度事業の選定にあたっては、公開プレゼンテーションを開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が決定した(平成31年度実施事業はなし)。 (3)29年度に実施した事業について、外部委員による審査委員会により評価を行った。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
	1	活動指標	公開プレゼンテーションの開催		目標 1				回
			実績			1			
	2	活動指標	審査委員会の開催		目標 2				回
			実績			2			
	3			目標					
		実績							
	4			目標					
		実績							

評価 (Check)			
<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>		地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。	
<b>事業の見直し・改善内容</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		事業募集に係る説明会について、費用対効果を見直し、説明会を開催せず、相談に来た団体に個別に対応することとした。	
評価項目		評価	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	<b>a</b>
	評価の理由	地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	<b>a</b>
	評価の理由	平成30年度は3事業を実施し、いずれの事業も対象者から好評を得られており、一定の成果が出ている。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	<b>b</b>
	評価の理由	事業の性質上、選定事業額が予算額以下となることから、毎年多くの不用額が発生している。より多くの提案が出るように周知等を行うほか、不用額の扱いについて検討することで、効率的な事業執行になる可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 来年度も事業提案を引き続き募集・選定するとともに、より多くの提案をしてもらうための取組について検討を行う。		

# 平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費(高津区のまちの記憶を次世代につなぐ)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		松田	64121	

事業の概要									
事業の概要		区で収集している地域の資料を基に、朗読劇を作成・上演し、次世代を担う子どもたちをはじめ、多くの区民に伝えることで地域への愛着を持ってもらい、多世代が相互理解するきっかけづくりをする。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		平成30年度	平成30年度						
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に残る貴重な資料や記憶が、世代交代等により散逸している現状がある。</li> <li>高津区は転入者も多く、まちの成り立ちや地域に点在する歴史資源の由来を知らない住民も増えている。</li> </ul>							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	639	639						
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	639	639						

計画 (Plan)	
事業の目的	埋もれたり、忘れ去られたりする可能性のある地域の記憶を、次世代につなぐ役割を果たすことで、地域の歴史を共有でき、これまで以上に次世代を担う子どもたちの地域への愛着を増してもらおう。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集した資料、写真をもとにしたシナリオを作成する。</li> <li>作成したシナリオを活用し朗読劇を上演する。</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>収集した資料、写真をもとに高津地区を主としたシナリオを1本作成した。</li> <li>作成したシナリオを活用し、朗読劇を4回上演した。(上作延こども文化センター、西梶ヶ谷小学校、上作延小学校、下作延わくわくプラザ)</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
	1	活動指標	シナリオの作成	目標	1				本
				実績	1				
	2	活動指標	朗読劇の上演	目標	3				回
				実績	4				
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津のまちに関する各種資料が年々地域から消えつつあり、子供たちが昔の高津のまちに触れる機会が少なくなってきている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津のまちに関する各種資料が年々地域から消えつつあり、それらの散逸する資料を収集・整理・保存・活用することが求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	朗読劇を観劇した参加者へのアンケート結果を見ると、「自分のまちにさらに愛着や興味をもった」「昔の暮らしがよく知れた」という趣旨の意見がみられたため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	高津区の高津地区での活動が主だったため、橋地区でも朗読劇を開催するなど、対象エリアの見直しを行う可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
開始当初から単年度事業としての事業実施を予定していたため、事業は終了するが、本事業を通じて把握することができた地域のニーズや得られた他団体との関係性等を活かして高津区ふるさとアーカイブ事業に引き継いでいく。		

# 平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費(高津区街情報プロジェクト事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		土屋	64351	

事業の概要									
事業の概要		町内会・自治会の掲示板等に掲載する情報を整理・集約し、魅力的なデザインで、伝わりやすいポスター・リーフレットを作成し、掲示板や回覧物を効果的で魅力的なものにする。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業費	
		平成30年度		—					
地域の課題と現状		町内会・自治会の掲示板等は、チラシや資料がそれぞれ個別に掲載されており、統一感がなく、興味関心の喚起や掲示板としての景観美化等、広報媒体としての、より効果的な工夫が求められている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	973	972						
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	973	972						

計画 (Plan)	
事業の目的	町内会・自治会の掲示板・回覧物を魅力的なものとし、情報が伝わりやすい、より効果的な広報媒体とする。
今年度の事業の取組内容	町内会・自治会の掲示板・回覧物に掲載する情報を整理・集約し、魅力的なデザインで、伝わりやすいポスター・リーフレットを作成する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		町内会の担当者等と定期的に編集会議を実施し、掲出しやすいポスターのサイズ・パターン等の調整等を行いながら、予定どおり、ポスターとリーフレットを製作し、対象地区に各戸配布、商業施設等への配架を行った。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
	1	活動指標	ポスター・リーフレットの発行回数	目標	4				回
				実績	4				
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		広報媒体や情報収集の方法が多様化し、地域交流の希薄化、住民ニーズの多様化が進む中、遡及対象に効果的な情報発信が求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域交流の希薄化、住民ニーズの多様化が進む中、効果的な情報発信が求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	情報を分野ごとに整理・集約し、伝わりやすい掲出物等を作成し、遡及対象に効果的に情報発信できた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ポスターサイズや部数、掲出先等を調整するなど、より効果的な手法を検討する。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
対象エリアの町内会・自治会の編集会議スタッフを中心に、市予算の執行なしで、地域の商業施設等と協力しながら継続実施する予定となっている。		

# 平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業(多世代交流人形劇鑑賞会)			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675000		保育所等・地域連携			窪井	64852

事業の概要											
<b>事業の概要</b>		高津区内6か所の公共施設等で、近隣の保育園や地域住民向けに多世代交流人形劇を公演する。季節に応じた音楽を多用し体を動かす参加型のプログラムで、赤ちゃんから大人まで参加者が一緒に楽しむことで交流できる場を提供する。									
<b>実施期間</b>		事業開始年度 平成30年度		事業終了年度 平成30年度		予算中事業		地域課題対応事業その他経費			
<b>地域の課題と現状</b>		高津区では近年地域に暮らす住民と地域の高齢者と子育て親子が交流する機会が減る現状が見られる。子どもと多世代が楽しい時間を共有し、地域のつながりを深め人と人をつなげ住みやすい地域づくりが必要である。									
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
	財源内訳	事業費									
		国庫支出金	380	380							
		市債									
		その他特財									
		一般財源	380	380							

計画 (Plan)	
<b>事業の目的</b>	地域の親子、近隣の保育園や地域住民が、一緒に人形劇を鑑賞し交流することにより楽しい時間を共有し、お互いに理解し合い絆を深めることで住みやすい地域づくりの一助となることを目的とする。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	音楽を使用し体を動かしたり声を出したりするプログラムで自然に劇に参加できるようにし交流ができるようにする。 (1)橋出張所(2)こぶら新地(3)子母口いこいの家(4)上作延いこいの家(5)久地いこいの家(6)高津市民館

実施結果 (Do)											
<b>上記取組内容に対する達成度</b>		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
<b>取組内容の実績等</b>		高津区6か所の公共施設で子育て親子といろいろな世代の方が人形劇を鑑賞するだけでなく歌や手遊び、交流プログラムを通し近隣住民が世代を超えて言葉を交わし顔と顔を繋げられる交流事業を実施した。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指標			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
	1	成果指標	多世代交流人形劇鑑賞者数	目標			400				人
				実績			389				
	2			目標							
				実績							
	3			目標							
実績											
4			目標								
			実績								

評価 (Check)			
<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>		高津区内では若い子育て世帯転入率が高く、また高齢者の人口増加率が高くなっている中で、地域のつながりが希薄な状況がみられ人と人を結びつける事業、場が求められている。	
<b>事業の見直し・改善内容</b>		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目			評価
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている <b>a</b>	
	評価の理由	参加者のアンケートや聞き取りから多世代交流のツールとして歌や手遊び、人形劇は有効であることが評価された。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない <b>a</b>	
	評価の理由	指標目標をほぼ達成した。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある <b>a</b>	
	評価の理由	来年度は実施の計画はなし。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
来年度の市民提案型事業への応募はないが、団体は高津区内や隣接区の子育て支援事業や地域子育て支援センター、保育園等においても人形劇を実施しているため、引き続き「多世代交流」で経験した団体の力を活かしつつ、今後も市内で活躍されることを期待する。		

# 平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	15	高津区地域課題対応事業外部評価事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		松田	64121	

事業の概要										
事業の概要		高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部評価委員(学識経験者)による外部の視点を加えた評価を行うことで、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図る。								
実施期間		事業開始年度 平成18年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域課題対応その他事業費		
地域の課題と現状		地域課題対応事業について、外部の視点による評価を行い、より効果的・効率的に事業を実施し、地域の課題解決を図っていく必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費		1,032	1,031					
		国庫支出金								
	市債									
	その他特財									
	一般財源	1,032	1,031							

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部の視点を加えた評価を行うことにより、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	平成29年度に実施した高津区地域課題対応事業のうち、6事業について、高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を開催し、外部評価委員(学識経験者)による評価を実施する。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を4回開催し、平成29年度高津区地域課題対応事業について、6事業の外部評価を実施した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
	1	活動指標	外部評価実施事業数	目標	6					事業
				実績	6					
	2	活動指標	高津区地域課題対応事業外部評価懇談会開催回数	目標	4					回
				実績	4					
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の課題が多様化・複雑化する中、事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められている。		
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		様式の「今後の事業の方向性」について、方向性区分を地域課題対応事業評価シートと同様に見直した。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由		地域の課題が多様化・複雑化する中、事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由		外部評価を行う中で、前回評価時指摘事項が改善され効果が出ていることが認められている部分がある。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由		年間4回開催している懇談会の回数や委員の数、評価方法などの見直しができる可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められているため、外部評価事業を継続していく。次年度で地域課題対応事業の評価が二巡するため、評価方法の見直しを行う予定。		